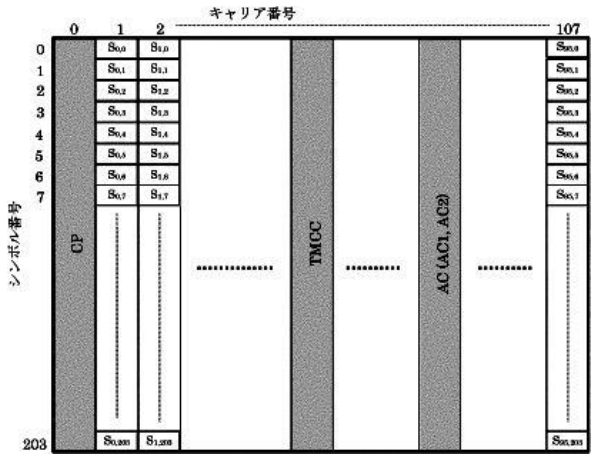
別表第七号　OFDMセグメントにおける伝送主シンボル、SPシンボル及びCPシンボルの配置(第11条第2項関係)

1　伝送主シンボルが差動変調(4分のπシフト差動4相位相変調)による場合のシンボルの配列



注

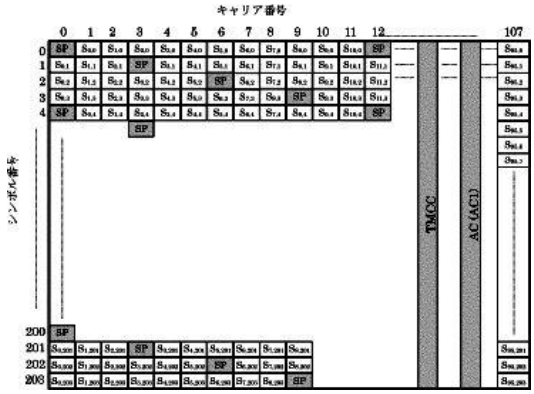
1　$S_{i,\ j}$は、周波数インターリーブ後のデータセグメント内のシンボルを示す。

2　図はモード1の場合のシンボルの配列を示す。モード2の場合はキャリア番号は0から215、モード3の場合はキャリア番号は0から431とする。

3　CPはCPシンボルを示し、キャリア番号0番に挿入する。

4　AC(AC1、AC2)はACシンボルを示し、AC1は差動変調、同期変調ともに用いられる付加信号とし、AC2は差動変調のみに用いられる付加信号とする。

2　伝送主シンボルが同期変調(4相位相変調、16値直交振幅変調、64値直交振幅変調、256値直交振幅変調、1024値直交振幅変調及び4096値直交振幅変調)による場合のシンボルの配列



注

1　$S_{i,\ j}$は、周波数インターリーブ後のデータセグメント内のシンボルを示す。

2　図はモード1の場合のシンボルの配列を示す。モード2の場合はキャリア番号は0から215、モード3の場合はキャリア番号は0から431とする。

3　SPはSPシンボルを示し、キャリア番号方向については12キャリアに1回、シンボル番号方向については4シンボルに1回挿入する。